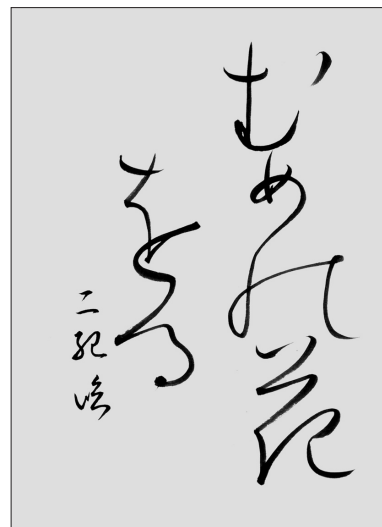


2月号 選択毛筆・書式特別優秀表彰作品

仮名入門（七段）

沈着さの中に躍動感ある秀作

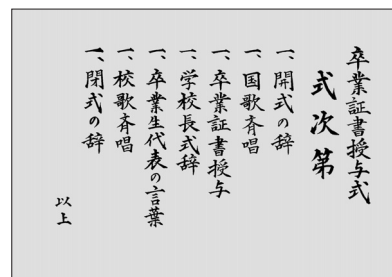
水沼 二紀



書式・毛筆（八段）

古典香る線で、縦横の並びの揃いも見事

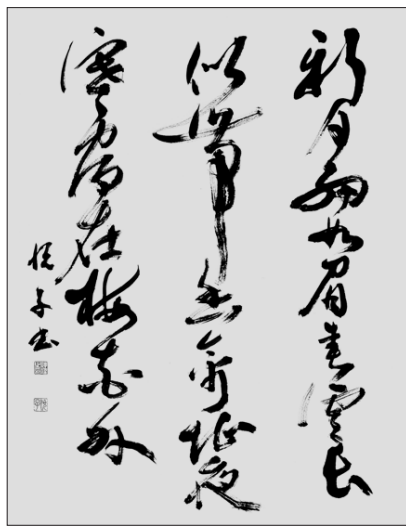
篠原 楊流



漢字（七段）

圧巻の筆力・筆勢と構成力で紙面（聯落ち）に三行と落款を見事に布置し、今回揺るぎのない最優秀作

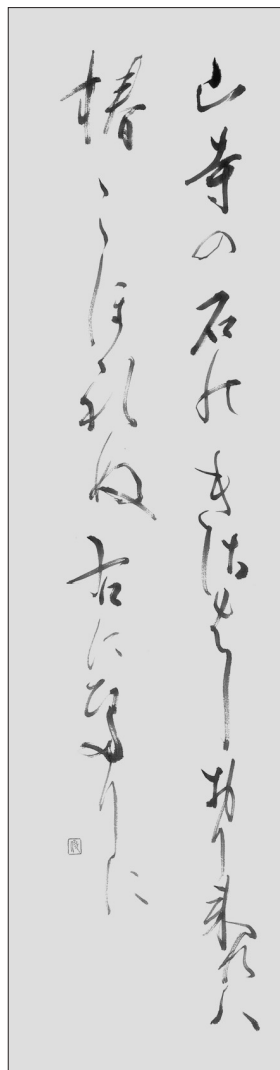
神庭 悦子



仮名（六段）

かな作品として大切な要素である自然な墨色の変化、軽快な連筆などによる完成度の高さを評価した

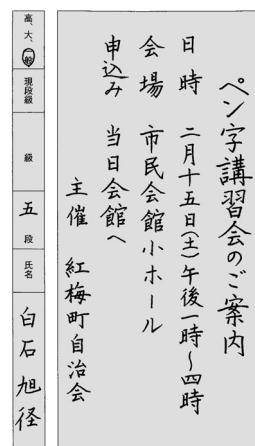
下斗米 俊子



書式・硬筆（五段）

配置よく整い文字の大小のつけ方も適切

白石 旭径



漢字仮名交じり書（八段）

抑揚あり流麗。漢仮の調和秀逸

佐高 淳子

2月号 規定毛筆特別優秀表彰作品

